

### 避難所の停電対策など 防災の備え強化を 発電機・投光機各10台 余震等災害に備え購入

新志会  
高橋 盛佳議員

**問** 東日本大震災の  
村内避難所に平時から  
準備しておくべき物品  
などの反省や教訓は。

**答** 長期の停電・燃  
料不足、物資の確保な  
ど、改めて防災に対す  
る新たな対策の必要性  
を強く感じました。

自治会からの要望  
が多くあった発電機や  
投光機は、各10台購入  
し、余震による災害の  
発生に備えました。

#### ガレキ処理など 今後の後方支援は

**問** 巨大津波による  
被災地のガレキ処理に  
あたっての村清掃セン  
ター受け入れなども含  
め、どのような後方支  
援を行う考えか。



▲大植町吉里吉里地区の被災状況

**答** 被災地の「災害  
ごみ」は岩手県分だけ  
で約580万トンとい  
われ、その処理につ  
いては広域的な対応が  
必要ですが、廃棄物処  
理の全体の流れを見極  
め、関係市町村と連携  
し、早期復興のため可  
能な協力をします。

#### 「空き家」対策は

**問** 村内の空き家状  
況はどうなっているか。

**答** 平成20年の住宅  
総数2万1920戸  
に対し、居住の無い世  
帯は3,130戸で、  
その内長期不在宅は  
910戸です。この問  
題は全国的に急増して  
おり、地域においても  
防災、防犯、景観、環  
境面の課題が切実とな  
り、各自自治体におい  
ても苦慮しています。  
公共の福祉のため  
も、空き家の管理に積  
極的に介入することは  
は、現行法令の下では  
難しい問題です。  
しかし、管理不十分  
な所有者に対する、環  
境問題事例の調査、通  
知などの対応をしてま  
いります。

### 高齢者医療用キットの 配布対象と時期は 8月から高齢者と 高齢者世帯に配布予定

新志会  
山谷 仁議員

**問** 全国の多くの自  
治体で配布され、その  
効果が認められている  
このキット(病気や飲  
んでいる薬などの情報  
を入れておくペットボ  
トルのような小さな容  
器)の配布時期と配布  
対象者は。その他の希  
望者に対してはどのよ  
うに考えるのか。

**答** 救急医療キット  
は、玄関の内側にキッ  
トの存在を示すステッ  
カーを貼り、情報を冷  
蔵庫に入れておき、救  
急時に医療情報を的確  
に把握できる仕組みで  
す。



▶冷蔵庫に入れて保管するキット

いと考えております。  
対象外の方からのご要  
望があった場合、事業  
開始後のご要望の動向  
を勘案し、有償提供も  
含めて、対応してまい  
りたいと考えておりま  
す。

#### 再生可能自然 エネルギーの促進策は

**問** 東日本大震災の  
教訓により、脱原発の  
動きが活発化する中、  
自然環境を守る観点か  
ら、一般家庭でも可能  
な太陽光発電などの利

用を促すため、自治体  
として何らかの方策を  
採るべきではないか。

**答** 本村では、温室効  
果ガス削減など「低炭  
素社会」を目指す環境  
政策として、本年度か  
ら「地球温暖化対策地  
方公共団体実行計画」  
の策定に着手すること  
としております。

現在どの程度の温室  
効果ガスが排出、吸収  
されているかを明確化  
し、省エネ機器、新エネ  
ルギーの導入、普及に  
ついて勘案し、国、県  
の動向も見据えながら効  
果的な施策を講ずる計  
画に致します。

一般家庭における太  
陽光発電などの自然  
エネルギーの導入、効  
果を検証してまいりま  
す。

#### その他の質問

(仮称)滝沢中央小学  
校建設計画について

### 岩手山火山防災マップ の見直しを 総合的な防災マップの 作成を検討

相原 孝彦議員

**問** 岩手山火山防災  
マップの現実に合わ  
せた見直しを検討す  
るべきではないか。ま  
た、マップをベースに  
した、各保育園、幼稚  
園、小中学校も含む全  
村の避難訓練を行うべ  
きでは。

**答** 岩手山が噴火し  
た場合に被災する区域  
を示したのが、岩手山  
火山防災マップで、過  
去最大級の1686年  
の噴火と同じ規模を想  
定し、可能性のある方  
向への到達範囲を現し  
ているので「岩手山火  
山防災マップ」の見直  
しは考えていません。

村は、火山災害のほ  
か、地震、水害、土砂  
災害を網羅した総合  
的な防災マップを、来

年度中に作成するた  
め検討しています。本  
村で最も危惧されるの  
は、岩手山の火山活動  
で、防災への住民意識  
を風化させないよう、  
被害想定区域内自治  
会や自主防災組織との  
連携のもと、区域内の  
各学校施設も含めた  
総合的な防災訓練の実  
施の必要があると考え  
ます。

#### 震災当日の備蓄は

**問** 震災当日、村内に  
備蓄されていたものは。

**答** 震災発生時点  
に、毛布700枚程の  
備蓄があり、避難所  
で使用しました。食料  
は、「大規模災害時」  
における岩手県市町村

相互応援に関する協  
定」で確保するため、  
備蓄はしていません。  
しかし、今回を教訓に、  
避難所の運営方法及び  
各物品等の備蓄のあり  
方を必要数量の把握も  
含めて検討します。

#### 被災者支援システム の導入は

**問** 災害発生時、被災  
状況などを二元的に管理  
できる「被災者支援シ  
ステム」の導入の考えは。

**答** このシステムは、  
避難所関連、緊急物資  
管理、仮設住宅管理、  
犠牲者遺族管理、倒壊  
家屋管理、復旧復興関  
連の各システムからな  
り、被災者を支援する  
システム及び被災地の  
復旧・復興に大きな力  
を発揮したようです。

このことから、本村  
でも今後の大災害の発  
生を想定し、ご指摘の  
ありました「被災者支  
援システム」の導入に  
ついて、研究します。

### 「食育の日」の認知度を 上げるためには 村独自のぼり旗を作り、 PRをしています

新志会  
佐藤 美喜子議員

**問** 5月に策定され  
た第二次食育推進計画  
について伺います。

①委員会構成は16人  
ですがこれで十分で  
すか。

②食育の日の認知度は  
9.4%ですが、この  
低さの原因と、今後  
の対策は。

③滝沢産食品購入希  
望者は85%に及ぶが  
産直情報や充実を  
望む声が多い。今後  
の対策は。

**答** ①委員の選定につ  
いてはいろいろな分  
野や住民の声が反映  
されるように取り組  
みます。  
②食育の日のPR不足  
だと思えます。村独  
自のぼり旗を作り



▶食育の推進の旗

#### 今回の震災からの 教訓とは

**問** 従来の防災の考  
えでは対処しきれない

庁舎前に掲げたり、  
関係機関、団体と連  
携しPR活動を展開  
します。

③産直施設について  
は、広報や観光パン  
フレットなどでPR  
してきましたが、尚  
一層の情報提供を実  
施していきます。

点も表面化しているが  
どの様な見直しが行わ  
れているか。  
①各地区の避難所は適  
切か。  
②防災関係の会議等  
に女性、弱者と言わ  
れる人、外国人の視  
点や声は反映されて  
いるか。  
③子ども達もこの震災  
から多くを学ぶため  
に被災地の現実を見  
たり子ども同士の交  
流も必要と思えます  
がお考えは。

**答** ①災害の状況によ  
り場所の選定も必要  
なので指定している  
施設の管理状況を確  
認してまいります。  
②沿岸被災地での意見  
や他市町村の実施事  
例を参考に検討し  
てまいります。

③現地での対応等に課  
題があり困難です。  
交流は長いスパンで  
継続するために校長  
会とも連携し協力し  
てまいります。